

連体詞・副詞・接続詞・感動詞【練習問題】

一年 組 番・二年 組 番（

○単語は全部で（ ）種類に分けることができる。その中で、活用のない自立語（Ⅱ後ろにどのような単語が続いた場合でも語の形が変化しない自立語）は、名詞以外で四種類ある。

ポイント① ↓ Ⅰの問題へ

▽活用のない自立語で、名詞以外のものは、全部で四種類ある。

①連体詞：「どの・どんな」を表す。主に

体言を含む文節を修飾する。

②副詞：状態や程度を表す。主に用言の文節を修飾する。

※副詞には、「状態・程度・呼応」の三種類がある。

③接続詞：文と文や文節と文節をつなぎ、前後の関係を示す。

④感動詞：話し手の感動・呼びかけ・応答・あいさつなどを表す。

⑤例「わあ・もしもし・はい・さようなら」

ポイント② ↓ Ⅱ・Ⅲの問題へ

▽連体詞と副詞の見分け方

・連体詞と副詞は、どちらも修飾語（Ⅱ他の言葉詳しくする語）として働く。この両者は、どんな言葉を修飾しているかで見分けるとよい。

⑥例「とても」：とても↓大きい

Ⅱ大きいという形容詞を詳しく説明しているのので、「とても」は副詞。

⑦例「いろんな」：いろんな↓意見

Ⅱ意見という名詞を詳しく説明しているのので、「いろんな」は連体詞。

※用言（Ⅱ動詞・形容詞・形容動詞）を詳しく説明していれば副詞。体言（Ⅱ名詞）を詳しく説明していれば連体詞。

ポイント③ ↓ Ⅳの問題へ

▽同じ語形でも品詞が違う場合の見分け方

・全く同じように見える単語でも、文中の働きによって実は品詞が異なる場合がある。

⑧例「また」：文中で位置を変えても意味が通じる場合は副詞。位置を変えられない場合は接続詞。

⑨例「もう」：他の言葉を詳しく説明していれば副詞。独立していれば感動詞。

・私もそう思う。 ↓副詞
・そう、それで政界だ。 ↓感動詞

＜練習問題＞

Ⅰ 次の文の―線部の単語は、
ア連体詞 イ副詞 ウ接続詞 エ感動詞
のどれか。記号を書きなさい。

- ①時間が―。だから、急ごう。
②すでに季節は春である。
③ある人の伝説を調べています。
④もしも、お久しぶりです。
⑤そう思うんだったら、教えて。
⑥みんな、おはよう。
⑦やりやすいのはどの方法か。
⑧急いだ。ところが、遅刻した。

Ⅱ 次の文の―線部の単語は、連体詞と副詞のどちらか。

- ①計画をしつかり立てたい。
②私はとんだ被害を受けた。
③君の猫はずいぶんかわいい。

Ⅲ 次の文から、指定された品詞の単語を書きなさい。

- ①この本はかなり売れたので、品薄だ。
②先輩と勝負するとは、たいした度胸だ。
③常にあらゆる可能性を秘めている。

Ⅳ 次の文の―線部の単語を書きなさい。

- ①また電話がかかってきた。
②東京、また大阪にも行った。
③ちよつと、返事しなさいよ。
④今日は、ちよつと勉強した。

まとめ 次の文章の―線部①～⑥の単語の品詞は、
ア連体詞 イ副詞 ウ接続詞 エ感動詞
のどれか。記号を書きなさい。

女性の中には、好きな男性のタイプとして「①たくさん食べる人」がいいと言う人がいる。②しかし、私は女性のほうが、男性よりも食べる量が③よほど多いと思うことがある。
なぜなら、豪華な食事を一通り食べた後、④いろんな種類のデザートを食べ、と食べてしまうからだ。「⑤えっ、いったいその体のどこに入るの」と思わずにはいられない。

④① ― ― ⑤② ― ― ⑥③ ― ―